

第2回
北海道における
クラウド等を活用した
地域におけるICTへの
投資の促進に関する
意見交換会
開催報告

開催概要

- ・ **日時：2015年4月15日 13:00 - 15:10**
- ・ **会場：北海道総合通信局会議室**
- ・ **参加者：**
 - ・ **構成員15名**
 - ・ **総務省4名**
 - ・ **オブザーバー2名**

小規模事業者によるサービス展開

ラジカルブリッジ

クラウドを活用した新たなビジネス形態

道内企業へのkintoneを活用した導入事例の紹介

昨年12月に「見積もりなし、仕様書なし」でのサービスを開始
たった2回のSkypeミーティングで佐賀県医療センター好生館
にシステム導入した事例を紹介

お客様、Sler及びクラウドサービスの三方良し

提供者側から考える中小規模事業者への普及における課題

ICTを導入・活用するという発想が希薄

「ICT=お金がかかる」という思い込み

リーズナブルな定額制SIサービスを知らない/

知らせることができない

小規模事業者によるサービス展開

ラジカルブリッジ

今後のSI事業について

従来型SIが必要な領域は残るが、新たな顧客層、新たな潮流が生まれているため、既存顧客のクラウドシフトと同時に新たな顧客層の出現などへの対応が必要

技術力の向上とともに、ユーザの課題発掘・方策提案力などの能力向上が必要

小規模事業者によるサービス展開

齋藤情報システムデザイン

地域の小規模事業者等に向けたICTコンサルとしての考え

企業と個人の溝、ユーザ組織内の溝及びユーザ組織とICTベンダの溝の三つの溝を埋める存在としてICTコンサルが存在
ユーザ事業者の顧客まで見据えてユーザ事業者の事業価値を
高めるという視点が必要
かつてのJ-SaaSでの普及員制度はうまく機能しなかったの
ではないか

ユーザ企業の現状

北海道建設業協同組合

紙に頼った原価管理の事務負担が膨大
状況のかわりやすい現場でも活用できる、クラウドを活用
した納入業者や下請け企業も含めて使えるシステムが必要

第一ホテル

従業員のICTリテラシのばらつき
(館内FAX・老眼で見えないハンディターミナル etc...)
納入業者のICT活用レベルもさまざま

その他の意見など

業界標準の作成について

地域の業界ごとに、それぞれの課題に応じた業務管理、経営管理などの標準を作ることはできないか

道内建設業界ではICT利活用に関する理解が進んでおらず、業界標準に嫌悪感を抱くケースもあるため、成功事例をデファクト化して推進するとよいのではないか

その他の意見など

必要な人材について

経営全体を俯瞰して経営者に対しいかにICTを導入すべきかを的確に助言できる人材でないと場当たりのICT導入で終わってしまう

顧客の業務内容を正しく理解し、それにあったICTを提案できる人材が必要

ITコーディネーター制度があるが、地方においてはコーディネーターとベンダが対立している事例もあり、資格制度を考えるのであれば先行事例を研究すべき

経営者層にICTの必要性を理解してもらうための活動を恒常的に続けていくことが必要ただし費用がかかるので、自治体や商工会議所などと協力していくと良い